

MIYAWAKI

ポンピングトラップ
PUMPING TRAP

GLP71-A 型

取扱説明書
USER'S MANUAL

ポンピングトラップ

GLP71-A 型

取扱説明書



 株式会社 **ミヤワキ**

はじめに

このたびは、ミヤワキ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品がお手元に届きましたら、ネームプレートの表示内容とご注文の型式の仕様を照合し、異常のないことをご確認ください。

正しく安全にご使用いただくために、ご使用前に本取扱説明書をお読みください。
適時にご活用いただけるように、お読みになった後もいつでも取り出せる所に保管してください。

本取扱説明書は、次の警告表示、注意表示を適所に挿入しています

 警告	人の死亡もしくは重傷を負う可能性が想定される内容を記します。
 注意	人が傷害を負う可能性、および物的損害のみの発生が想定される内容を記します。

目次

1. 仕様と表示	1
2. 構成部品	3
3. 設置要領	4
4. 運転要領	8
5. 保守	9
6. 分解図	13
7. 故障の原因と処置	15
8. 製品保証	16
9. シリアルナンバー(S. No.)表示	17
10. 主な特殊仕様	18

1. 仕様と表示

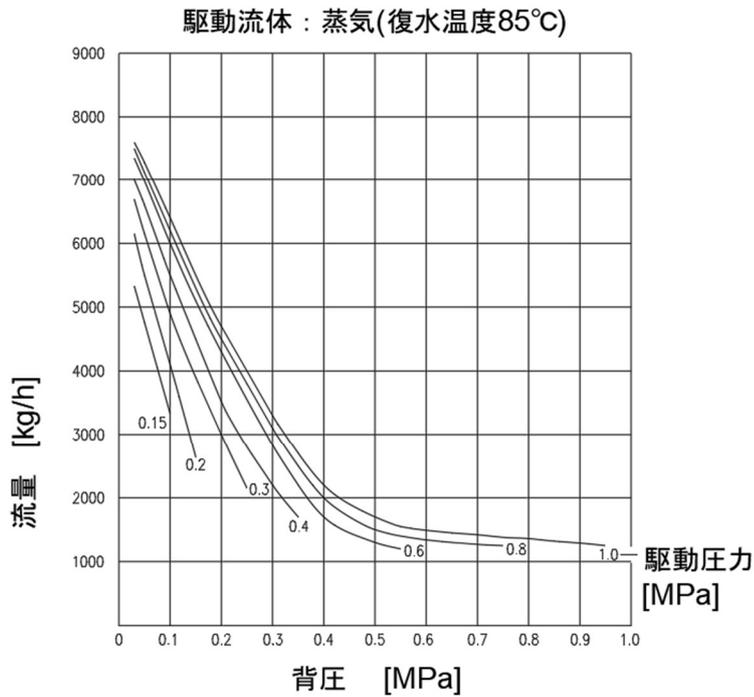
下記の項目は、製品ネームプレートもしくは本体側面に記してあります。
誤った使用を避けるため、これらの表示をご確認ください。

- (1) 最高許容圧力 (PMA): 本体が許容し得る最高圧力
- (2) 最高許容温度 (TMA): 本体が許容し得る最高温度
- (3) 最高使用圧力 (PMO): 正常に作動する最高圧力
- (4) 最高使用温度 (TMO): 正常に作動する最高温度
- (5) 呼び径 (Size): A呼称(mm)にて接続口径を表示
- (6) 製造年: S. No.に記した9桁(または4桁)の左2桁に西暦の下2桁を表示

寸法その他の仕様について、製品カタログ等別途の資料をご覧ください。

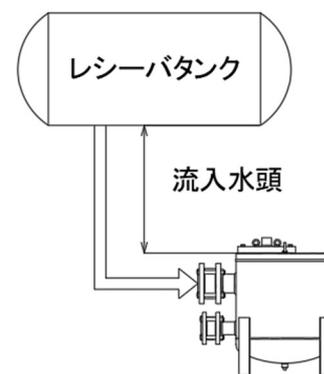
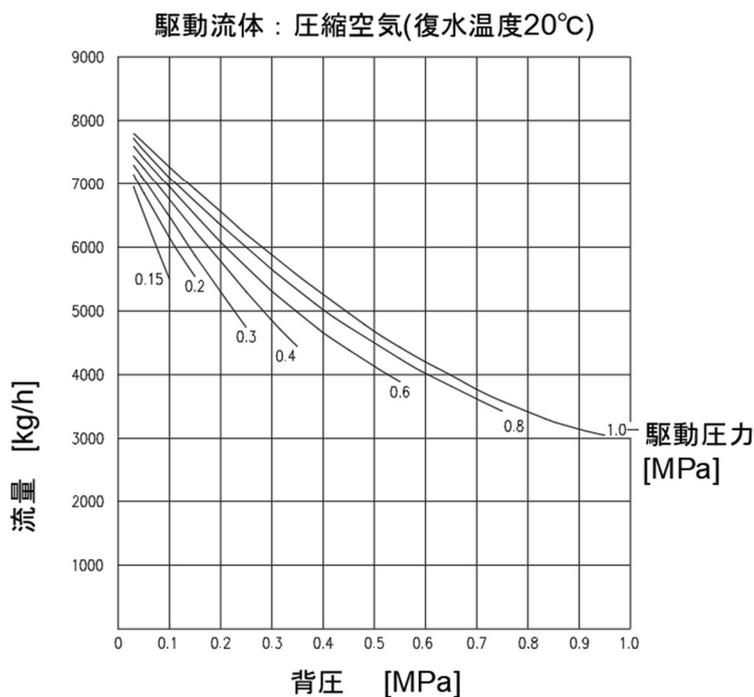
流量線図：流入水頭 770 mm

- 以下の流量は、付属の逆止弁を使用した場合に適用されます。付属の逆止弁を使用しない場合、所定の流量が得られないことがあります。
- 流入水頭により圧送能力が変わります。流入水頭に応じて流量を算出してください。

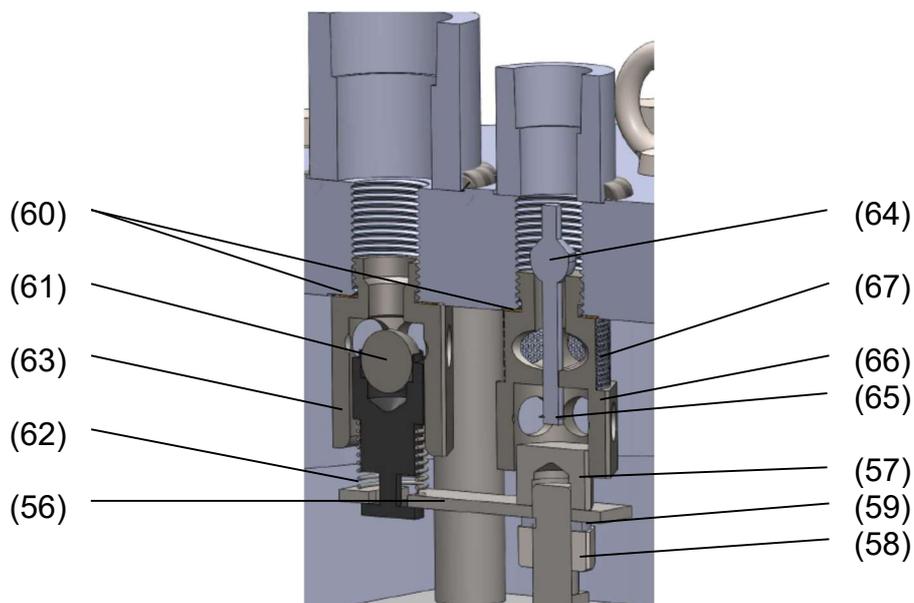
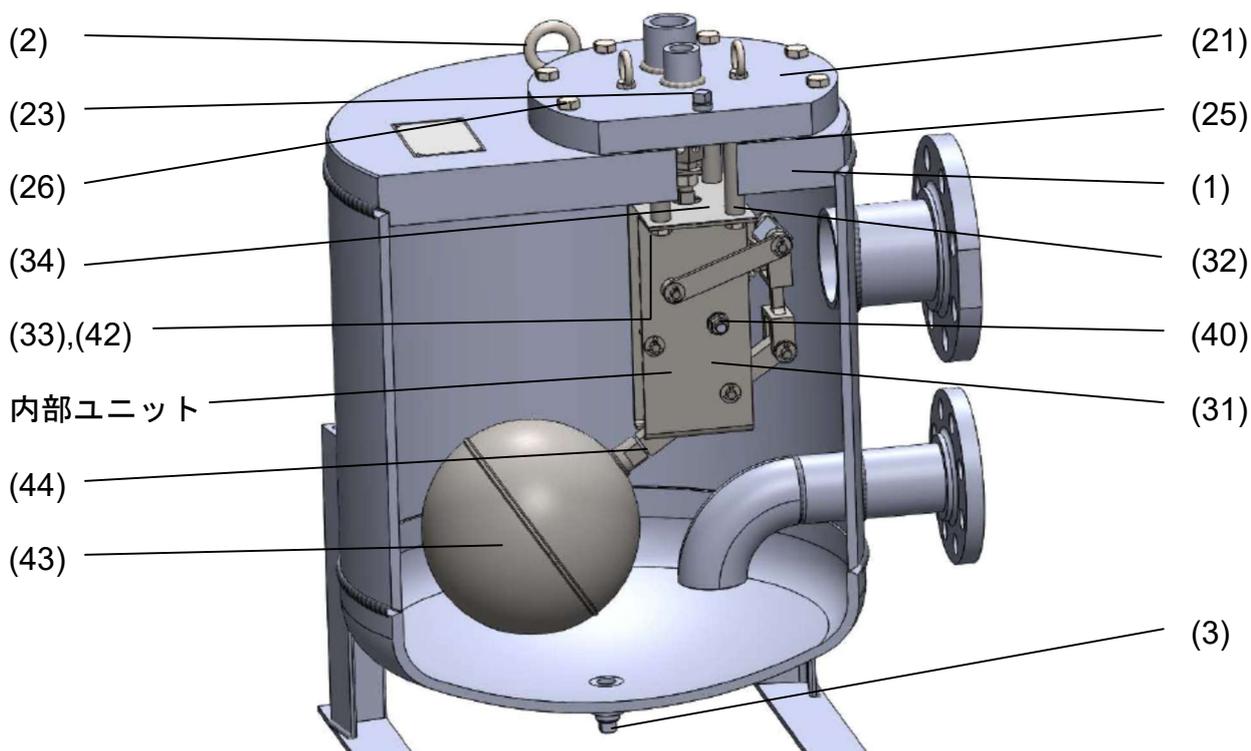


流入水頭が770mm以外の排出流量を得るには、排出流量チャートに以下の補正係数をかけて算出してください

流入水頭	補正係数
150mm	0.66
270mm	0.77
370mm	0.82
570mm	0.92
770mm	1
970mm	1.01
1270mm	1.03



2. 構成部品



- | | | |
|--------------|------------------|-------------------|
| 1. ボデー | 33. M10 ボルト | 59. M12 スプリングワッシャ |
| 2. M12アイボルト | 34. プレート(A) | 60. シートガスケット |
| 3. 15Aプラグ | 40. M10ナット | 61. ベントバルブ |
| 21. カバー | 42. M10スプリングワッシャ | 62. スプリング(B) |
| 23. 10Aプラグ | 43. フロート | 63. ベントバルブシート |
| 25. カバーガスケット | 44. フロートレバー | 64. モーティブバルブ |
| 26. M12ボルト | 56. プレート(B) | 65. Cリング |
| 31. フレーム | 57. ナットキャップ | 66. モーティブバルブシート |
| 32. ポスト | 58. M12ナット(細目) | 67. スクリーン |

3. 設置要領

⚠ 警告

- 爆発物の危険性のある場所や、有毒ガスの発生を伴う場所での作業は、十分注意してください。また、配管内に可燃性物質や高温物質等危険を伴う流体が残存していないか確認のうえ作業を行ってください。

⚠ 注意

- 復水入口管の開閉弁を閉じ、配管の表面温度が十分低下してから作業を始めてください。このとき、開閉弁が漏れていないか十分に確認してください。
- GLP71-A型は重量物ですので、配管の破損を防ぐため配管サポートなどで補強することをおすすめします。

本体を配管に取付ける前に、復水入口管の開閉弁を開いて配管内をブローし、ゴミやスケールを十分取り除いてください。(配管内のフラッシング)
本体周辺にメンテナンススペースを確保してください。

ポンピングトラップの設置方法

ポンピングトラップの設置方法には、オープンシステムとクローズドシステムの2つの配管方法があります。

- ① オープンシステムは、レシーバタンクを大気開放するように配管します。フラッシュ蒸気を外部へ排出することで、一次側の圧力変動要素を軽減できます。
駆動流体は蒸気・圧縮空気・窒素ガスを使用可能です。
- ② クローズドシステムは、レシーバタンクを大気解放せず、排気管が均圧管の役割をするように配管します。フラッシュ蒸気を外部へ漏らしません。
駆動流体は蒸気を使用可能です。
ポンピングトラップの直後にスチームトラップを設置してください。

レシーバタンクについて

レシーバタンクには、ポンピングトラップが圧送中に発生した復水と、その復水から発生するフラッシュ蒸気を受けるための十分な体積(下表参照)が必要です。

口径[A]	長さ[mm]
350	910

また、オーバーフロー配管には最低でも 300mm の U 字水封を設けて下さい。

復水入出口配管について

入出口逆止弁は、流れ方向に合わせて、正しく取り付けてください。

入出口逆止弁の接続に必要なボルト・ナット・ガスケット・相フランジは、本体に付属するものを使用してください。

復水入口管にはストレーナを取り付けてください。

給気管について

メンテナンスを容易に出来るよう、給気管は本体に近い場所から配管してください。また、本体との接続にはユニオン継手等を使用してください。

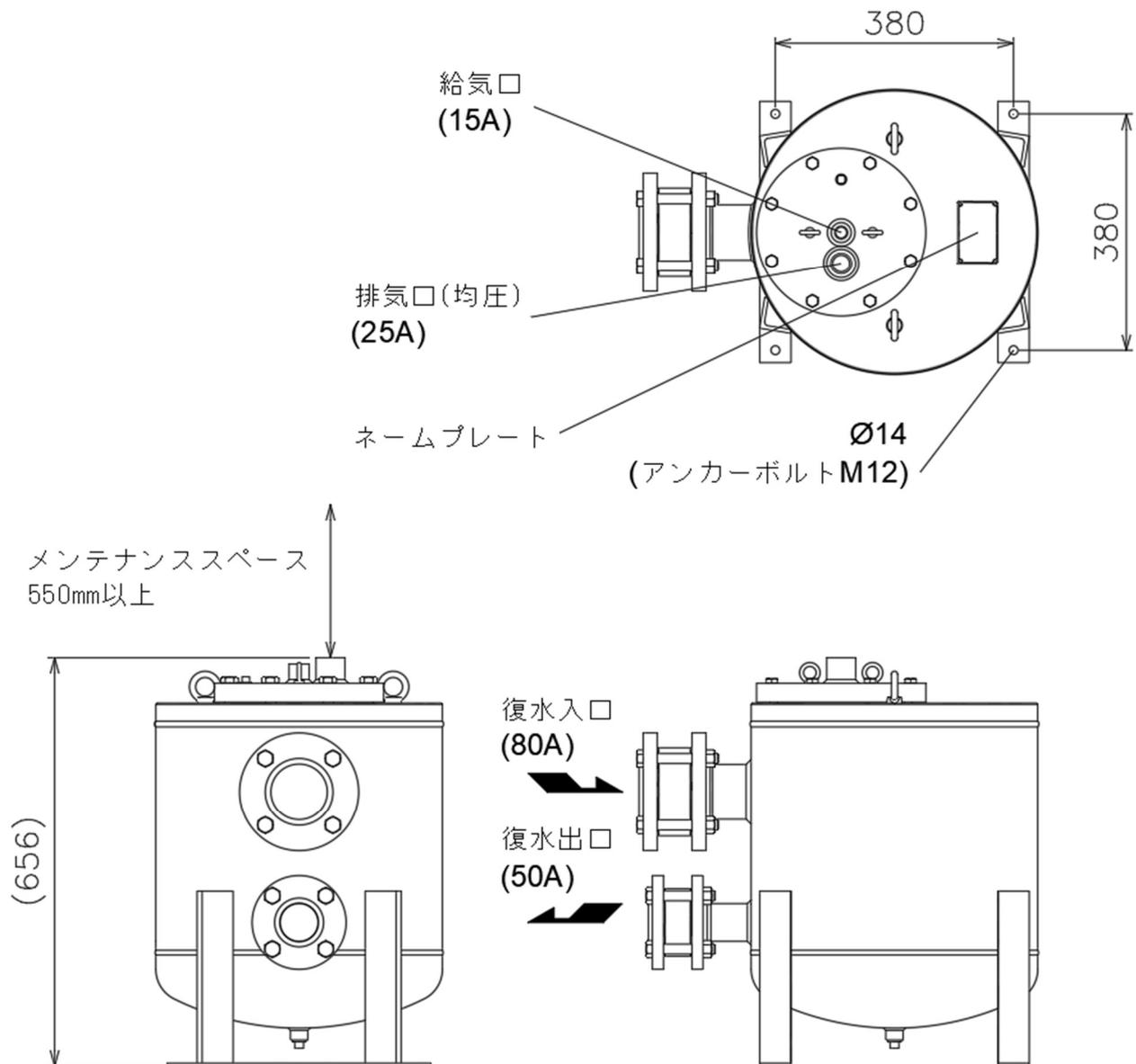
給気管にはストレーナとスチームトラップを取り付けてください。

(駆動流体が圧縮空気・窒素ガスの場合、スチームトラップは不要です)

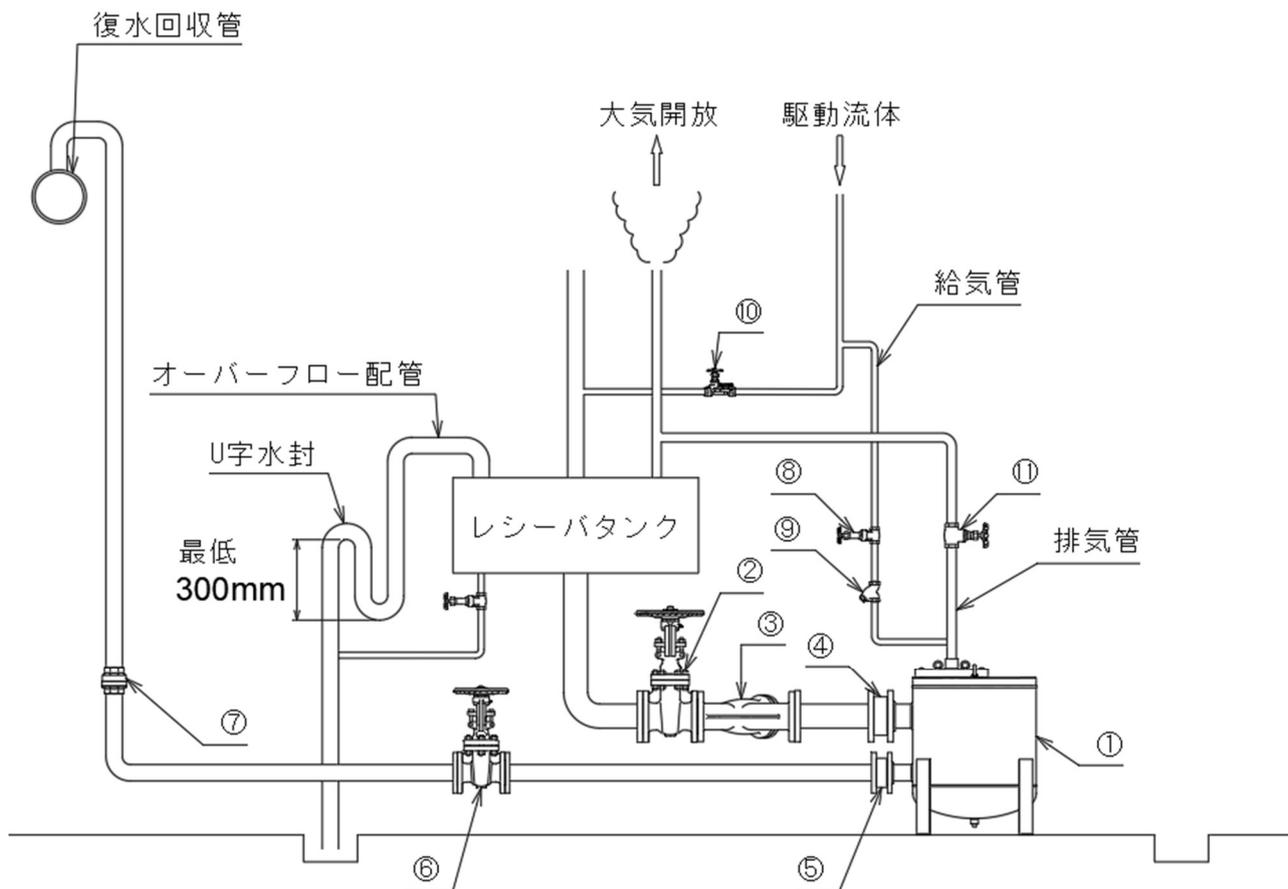
排気管について

排気管は、垂直に立ち上げてからレシーバタンクの上へ接続してください。

メンテナンスを容易に出来るよう、本体との接続にはユニオン継手等を使用してください。



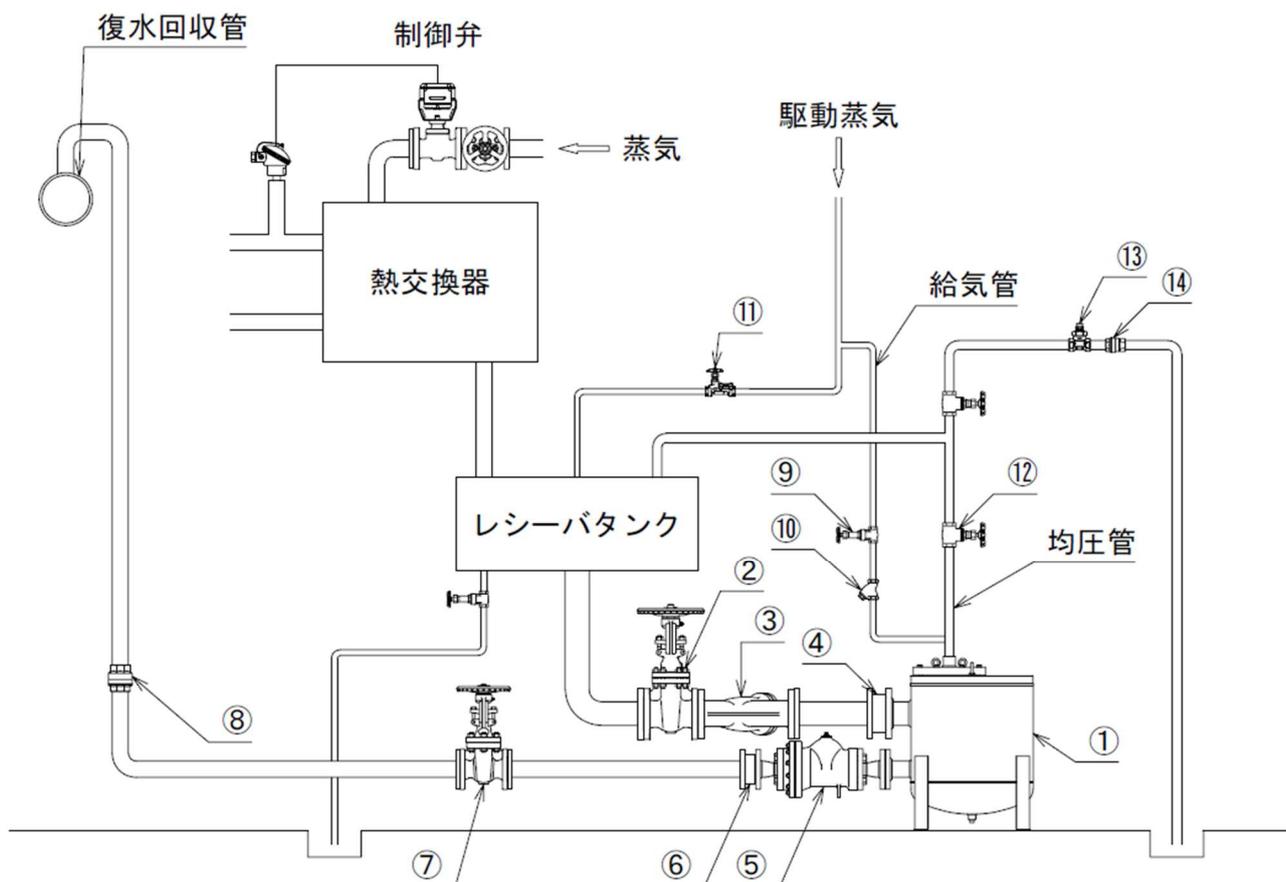
オープンシステムでの設置配管例



※図は駆動流体が蒸気の場合の配管例です。

①	ポンピングトラップ GLP71-A	⑥	復水出口配管バルブ (ゲートバルブ推奨)	⑪	排気管バルブ
②	復水入口配管バルブ (ゲートバルブ推奨)	⑦	逆止弁 CVC3		
③	ストレーナ	⑧	給気管バルブ		
④	入口逆止弁 SR20.40-St	⑨	ストレーナ YM1		
⑤	出口逆止弁 SR20.40-St	⑩	スチームトラップ DV1-10H		

クローズドシステムでの設置配管例



①	ポンピングトラップ GLP71-A	⑥	出口逆止弁 SR20.40-St	⑪	スチームトラップ DV1-10H
②	復水入口配管バルブ (ゲートバルブ推奨)	⑦	復水出口配管バルブ (ゲートバルブ推奨)	⑫	排気管バルブ
③	ストレーナ	⑧	逆止弁 CVC3	⑬	エアベント AT9N
④	入口逆止弁 SR20.40-St	⑨	給気管バルブ	⑭	逆止弁 CVC3
⑤	スチームトラップ	⑩	ストレーナ YM1		

4. 運転要領

⚠ 注意

- 配管の接続は確実にしているか確認してください。
- バルブの開閉はゆっくり確実に行ってください。

運転開始手順

- (1) 復水出口配管のバルブを開いてください。
- (2) 排気管のバルブを開いてください。
- (3) 給気管のバルブを開いてください。
- (4) 復水入口配管のバルブを開いて、復水を流入させてください。

運転終了手順

- (1) 復水入口配管のバルブを閉じてください。
- (2) 給気管のバルブを閉じてください。
- (3) 排気管のバルブを閉じてください。
- (4) 復水出口配管のバルブを閉じてください。

5. 保守

⚠ 警告

- 分解・修理するときは、製品内部の圧力が大気圧となり製品の表面温度が十分下がってから行ってください。(圧力、温度が高い状態で作業を行うと、流体が噴出し、ヤケドやケガをするおそれがあります。)

⚠ 注意

- 部品を交換するときは、弊社が支給する保守部品を使用してください。
- 本体からカバーを取り外す前に、復水入出口配管・給気管・排気管のバルブが閉じ、他の接続から完全に遮断されていることを確認してください。
- カバーガスケットは膨張黒鉛ガスケットであるため、焼き付き防止剤等のペーストは塗布しないでください。シール性が維持出来なくなります。

ポンピングトラップは、長期使用による経年劣化や配管内の異物の付着等により作動性能が低下します。蒸気使用設備や装置の性能維持のため、ポンピングトラップの定期点検は不可欠です。

目安として2年に一度分解点検を実施する事を推奨します。

定期点検

(外部)

- 本体や接続部で漏れがないこと。
- 作動工程の切替わりにカチッという音が聞こえること。
- ドレン滞留がないこと(オープンシステムの場合、レシーバタンクからドレンのオーバーフローが無いこと)。
- 各部ボルト、ナットの緩みがないこと。
腐食や割れがある場合は、交換してください。

(内部)

- フロートを上下させることにより駆動弁、排気弁が上下にスムーズに開閉すること。
- 軸部や摺動部に異常な磨耗、異物の付着がないこと。
- フロートに浸水等の異常がないこと。
- 各部ボルト、ナットの緩みがないこと。
腐食や割れがある場合は、交換してください。

分解

内部の点検もしくは不良トラップを修理するには、分解が必要です。次の手順に従い分解してください。

- 内部ユニット付きカバーの取り外し
 - (1) カバー(21)への接続を全て外します。(給気口、排気口への接続部材)
 - (2) 本体下部の15Aプラグ(3)を取り外して本体内部の残留復水を排出してください。
 - (3) M12ボルト(26)(対辺19)を取り外し、内部ユニット付きカバーをボデー(1)から取り外します。このとき、ボデー(1)とカバー(21)のシール面に傷がつかないように注意して、付着しているカバーガスケット(25)を取り除いてください。

内部ユニット付きカバーを取り外す際は、フロート(43)をボデー(1)開口部に衝突させないように注意して下さい。

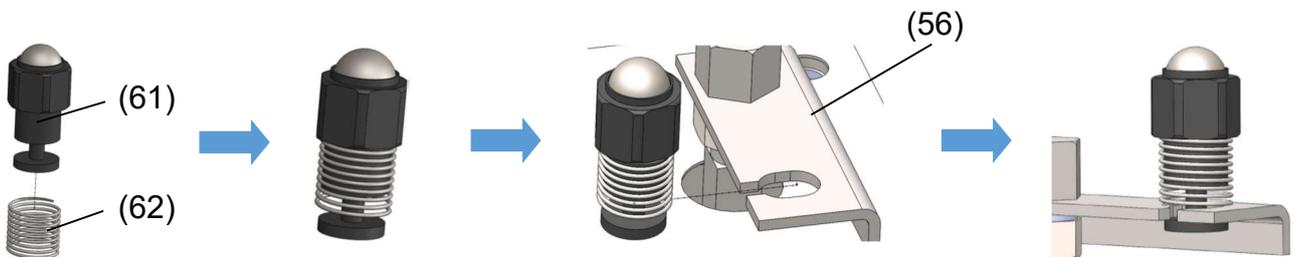
- フロートの取り外し
フロート(43)を取り外す必要のあるときは、フロートレバー(44)の平坦部(厚さ19mm)とフロート(43)の取付け金具(対辺19)をモンキーレンチなどで保持してネジを緩め、取り外します。
- 内部ユニットの取り外し
(1) 内部ユニット付きカバーを、カバー側を下にしてバイス台に固定します。
(2) 内部ユニット用M10ボルト(33)(対辺17)を外し、内部ユニットをカバー(21)から取り外します。
- 弁座部の分解
(1) カバー(21)をバイス台に固定します。
(2) ベントバルブシート(63)とモーティブバルブシート(66)(対辺30)を取り外します。モーティブバルブシート(66)を取り外す際、スクリーン(67)が共に外れます。

組立

分解後、再度組み立てる際は、分解と逆の手順にて組み立ててください。

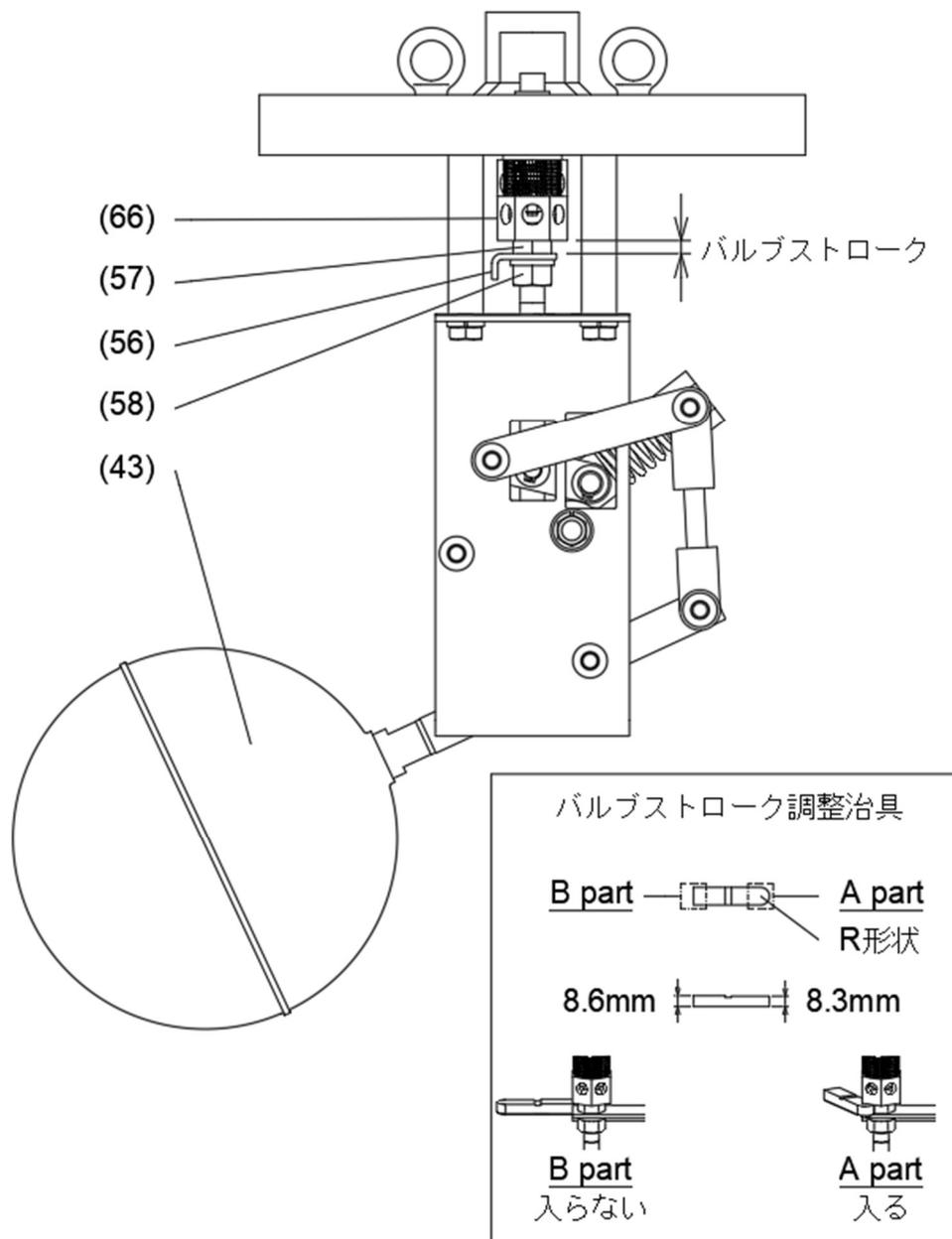
※ 締付トルクは、締付トルク表をご参照ください。

- (1) カバー(21)をバイス台に固定します。
- (2) カバー(21)のバルブシート取付部にシートガスケット(60)を乗せ、ベントバルブシート(63)とモーティブバルブシート(66)(対辺30)を取り付けます。
モーティブバルブシート(66)を取り付ける際は、スクリーン(67)を入れ締め付けます。
- (3) カバー(21)の内部ユニット取り付け用ネジ部へポスト(32)を乗せます。
- (4) 内部ユニットを持ち上げ、ナットキャップ(57)がモーティブバルブシート(66)に、ベントバルブ(61)がベントバルブシート(63)に入るように位置を調整しながら、内部ユニットを取り付けます。ベントバルブ(61)がプレート(B)(56)から外れないようにご注意ください。
ベントバルブ(61)がプレート(B)(56)から外れた場合は、下図のようにスプリング(B)(62)の内径にベントバルブ(61)を入れ、スプリング(B)(62)を手で縮めた状態でプレート(B)(56)の鍵穴にベントバルブ(61)をスライドさせて入れます。



- (5) 内部ユニット用M10ボルト(33)にM10スプリングワッシャ(42)を装着し、カバー(21)へ内部ユニットを取り付けます。このとき片締めにならないように均等に締め付けてください。
- (6) 内部ユニット付きカバーをバイス台より外します。

- (7) 内部ユニット付きカバーを、カバー側が上になるように固定します。
- (8) バルブストローク調整治具を使い、内部ユニットのバルブストローク調整をします。フロートが下がっている状態で、プレート(B)(56)とモーティブバルブシート(66)の隙間に調整治具のA part(厚さ8.3mm)を挟み、M12ナット(細目)(58)とナットキャップ(57)でプレート(B)(56)を締め付けます。締め付け後、調整治具を引き抜きます。
 ※ ナットキャップ(57)には対辺19mmのスパナを使用しますが、隙間が狭いため、厚みが4mm以下の薄スパナを使用してください。
 この調整治具と薄スパナは、Bキット、Cキットの部品購入時に付属します。
- (9) 調整した隙間に調整治具のB part(厚さ8.6mm)が入らないことを確認します。



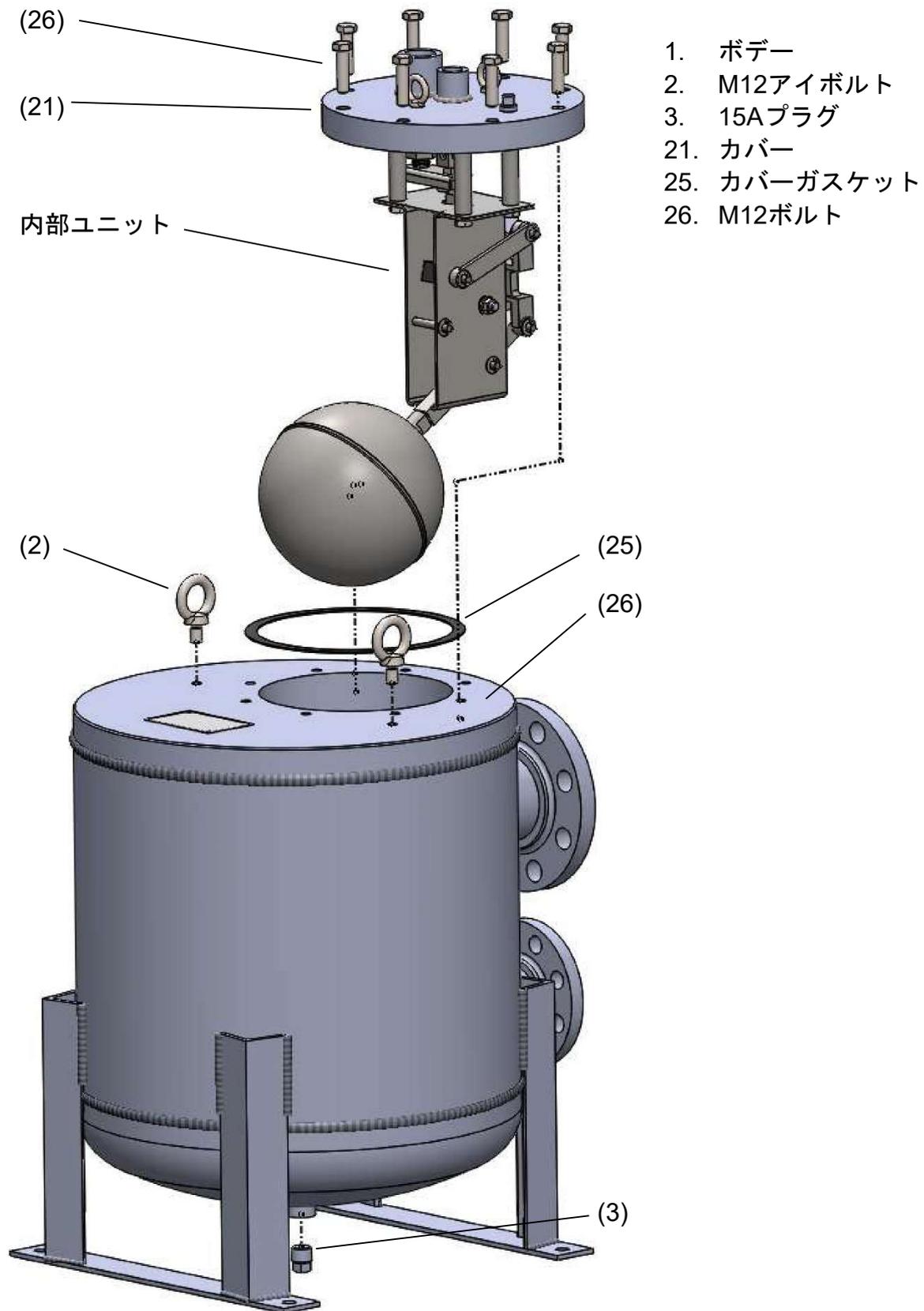
- (10) ボデー(1)にカバーガスケット(25)を乗せ、ボデー(1)の開口部へフロート(43)を衝突させぬよう注意しながら内部ユニット付きカバーを取り付けます。カバーガスケット(25)は新品を使用してください。
- (11) M12ボルト(26)のネジ部には焼き付き防止剤を少量添付し(塗りすぎないように注意してください)、片締めにならないように均等に締め付けて下さい。

締付トルク表

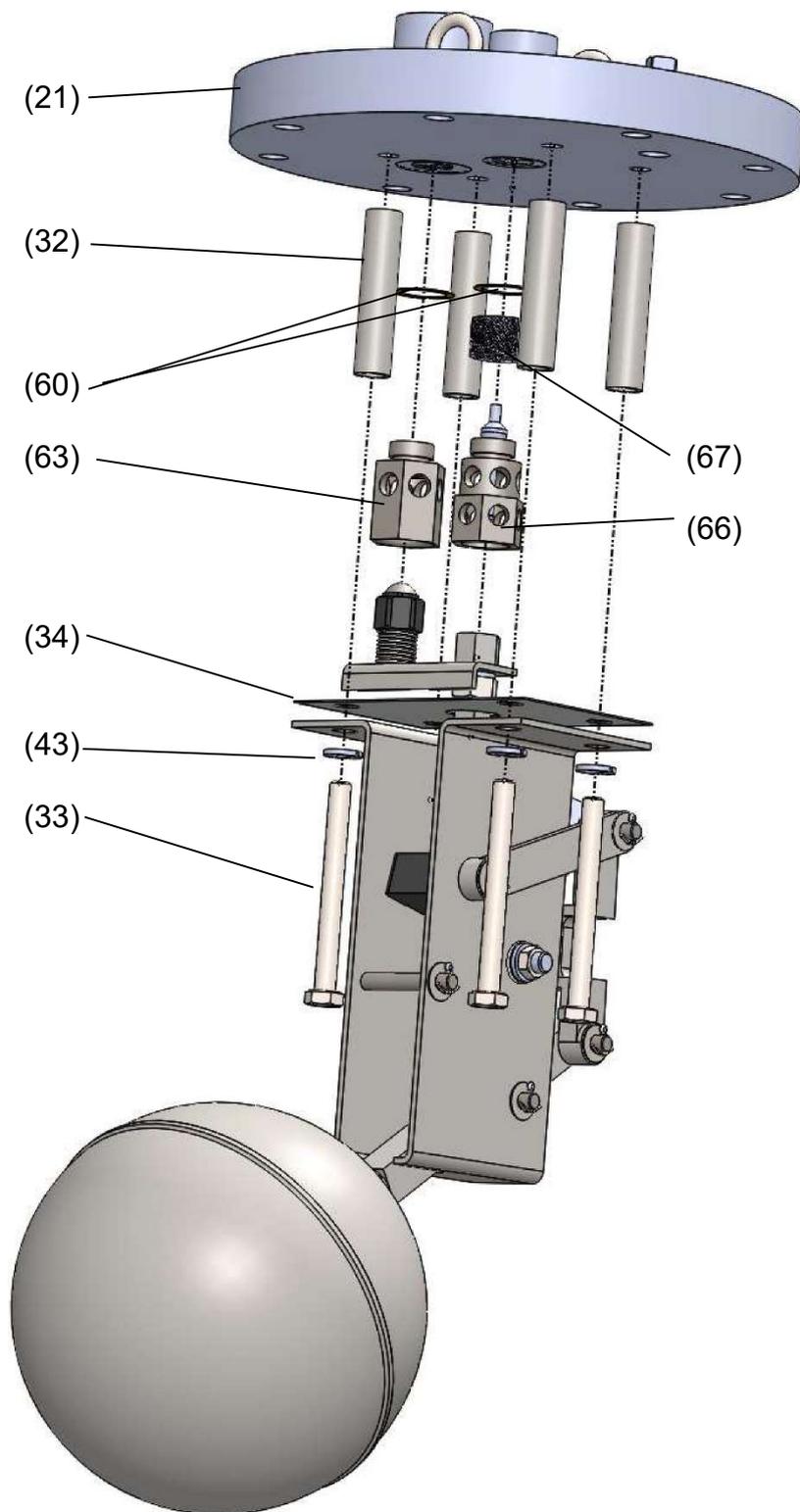
部品	工具	対辺	トルク
M12 ボルト(26)	トルクレンチ	19mm	70N・m
内部ユニット用 M10 ボルト(33)	トルクレンチ	17mm	25N・m
M10 ナット(40)	トルクレンチ	17mm	25N・m
フロート(43)	トルクレンチ	19mm	20N・m
ナットキャップ(57)	薄スパナ (厚み 4mm 以下)	19mm	—
M12 ナット(細目)(58)	トルクレンチ	19mm	30N・m
ベントバルブシート(63)	トルクレンチ	30mm	80N・m
モーティブバルブシート(66)	トルクレンチ	30mm	80N・m

6. 分解図

カバー、アイボルト、プラグ



内部ユニット



- 21. カバー
- 32. ポスト
- 33. M10ボルト
- 34. プレート(A)
- 42. M10スプリングワッシャ
- 60. シートガスケット
- 63. ベントバルブシート
- 66. モーティブバルブシート
- 67. スクリーン

7. 故障の原因と処置

現象	原因		処置
ポンピングトラブルが作動しない	復水入口配管の閉止	バルブの閉鎖	復水入口配管のバルブを開く。
		ストレーナのつまり	ストレーナを清掃する。
		入口逆止弁の開弁不良	入口逆止弁を交換する。
	復水出口配管の閉止	バルブの閉鎖	復水出口配管のバルブを開く。
		出口逆止弁の開弁不良	出口逆止弁を交換する。
	給気管の閉止	バルブの閉鎖	給気管のバルブを開く。
		ストレーナのつまり	ストレーナを清掃する。
	排気管の閉止	バルブの閉鎖	排気管のバルブを開く。
		エアベントの排出不良	エアベントを交換する。
	内圧 > 背圧 とならない	駆動圧力 < 背圧	駆動流体用の減圧弁を調整する。
駆動流体の漏れ		入口逆止弁を交換する。	
	内部ユニットの故障		点検・清掃・部品交換を行う。
本体からの蒸気漏れ	ボデー・カバーの締結部の緩み		増し締めを行う。
	カバーガスケットの損傷		カバーガスケットを交換する。
	ボデー・カバーのシール面の損傷		ボデー・カバーを交換する。

増し締めの締付トルクは、「5.保守」の締付トルク表をご参照ください。

8. 製品保証

保証期間

製品出荷日から18ヶ月以内、又は製品の取り付け後12ヶ月以内のいずれかのうち、早く終了する期間といたします。

保証内容

保証期間中に故障した場合は、故障の原因が次の事項に該当しない限り、無償で修理または交換いたします。

- (1) 本書に記載の注意事項を遵守しなかったことによる場合。
- (2) 不適切な取付け作業や取扱い、落下による過大な打撃等、使用者の過失による場合。
- (3) 弊社以外の機器、設備、及び使用環境による場合。
- (4) 弊社または弊社が委託した者以外の者により修理、改造がなされている場合。
- (5) 塩分その他、著しく錆び、腐食を促す物質の浸入、もしくは同物質を含む流体による場合。
- (6) 消耗部品(例えば、パッキン、ガスケット、Oリング、ダイヤフラム、オイルフリーブッシュなど)による場合。
- (7) 配管内のゴミ、スケールなどの異物の付着、たい積による場合。
- (8) 火災、自然災害、その他弊社の責任とみなされない不可抗力による場合。

保証範囲

保証は、原因の如何にかかわらず、納入した製品の販売価格を超えないものといたします。

9. シリアルナンバー(S. No.)表示

製品には下記の4桁又は9桁のS. No.が表示されます。

4桁表示の場合

S. No. □□□□

日を表します
月を表します
年を表します。(西暦の下2桁)

S. No.の表示例

1 4 9 1 → 2014年9月1日
2 9 X M → 2029年10月21日

9桁表示の場合

S. No. □□□□□□□□□

ミヤワキ識別番号。
月を表します。
年を表します。(西暦の下2桁)

S. No.の表示例

1 4 9 1 1 A 1 0 0 → 2014年9月
2 9 X 0 5 M 0 5 0 → 2029年10月

月の表示方法

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
記号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	X	Y	Z

日の表示方法

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
記号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C
日	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
記号	D	E	F	G	H	J	K	L	M	N	O	P
日	25	26	27	28	29	30	31					
記号	Q	R	S	T	U	V	W					

10. 主な特殊仕様

〇〇〇-〇〇-□

特殊記号：特殊品のみに付記される記号。
(特殊内容については表1参照)
"-以下英文字で表現します。

型式記号：その製品の型式番号

表1 主な特殊仕様の記号説明

記号	特殊内容
A	高圧ガス設備品のトラップ(ガストラップのみ)
C	ブローバルブを取付けた製品
K	使用しているガスケットの変更
L	面間寸法の変更
M	使用部品の材質変更
P、T	使用圧力、温度、排出量などの変更
R	スクリーンメッシュを変更
V	エアメントの変更
X	上記以外の特殊内容またはそれらを複合した特殊品

-
- お買い上げの製品及びこの取扱説明書内容についてのご質問は下記にお問い合わせください。また、この取扱説明書を紛失した場合や、汚損により読めなくなった場合は、同じく下記へご請求ください。
 - 特殊仕様の製品については、取扱説明書の内容と一部異なる場合があります。特殊仕様に関する取扱説明書内容についてのご質問は、お買い上げ頂いた販売店若しくは最寄の弊社ミヤワキまでお問い合わせください。
 - 外観及び仕様などは、製品改良のため予告なしに一部変更させて頂くことがあります。
-



お問い合わせ窓口

製品の使い方やアフターサポートなど、製品に関するお問い合わせは、右のQRコードから、最寄りの弊社事業所までご連絡ください。弊社事業所一覧(連絡先)は右のQRコードをスマートフォン、携帯電話等で読み取っていただくことでアクセスできます。



本社・工場

〒532-0021 大阪市淀川区田川北 2-1-30

Tel : 06-6302-5531(代)

www.miyawaki-inc.com



INTERNATIONAL SALES DEPT.

2-1-30, Tagawakita, Yodogawa-ku, Osaka, 532-0021, Japan

Tel: +81-6-6302-5549

www.miyawaki-inc.com/en e-mail: export@miyawaki-inc.co.jp

EU Importer and Authorized representative:



Birnbaumsmühle 65, 15234 Frankfurt (Oder), Germany

Tel: +49-335-4007-0097

www.miyawaki.de e-mail: info@miyawaki.de

China Importer and Authorized representative:



Room 902, Building 8, Huaqing Chuangzhi Park, No.3 Qingyan Road, Huishan District, Wuxi City Jiangsu Province, China

Tel: +86-510-8359-5125

www.miyawaki-inc.com.cn e-mail: mywkwest@miyawaki-inc.com.cn

808142-01 2407

GLP71-A